

歴史総合, 世界史探究

(60 分)

注 意 事 項

1. 試験問題は、問 1 ～問 35 まであります。

解答用紙(マークシート)には、問題番号が 1 ～50、選択肢が①～⑩まで印刷されていますが、解答にあたっては、問 1 ～問 35 までの各設問に指示された選択肢の数の中から選んで解答してください。

2. 解答する科目、受験番号、解答が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

問題 I

次の文章を読み、下の問(問1～12)に答えよ。



出典：『世界史探究』東京書籍，2024 年，300 頁。

この図は第1次バルカン戦争を目前にした1912年10月、イギリスのパンチ誌に掲載された「沸点」と題される風刺画である。「バルカン問題」と書かれた釜の蓋を押さえつける5人の男たちは、擬人化された 1 (左下)、ドイツ(中下)、オーストリア＝ハンガリー(右下)、イギリス(左上)、イタリア(右上)で、オスマン帝国の弱体化を背景にバルカン半島で噴出する、複雑な民族・宗教対立などの諸問題を抑え込もうとする周辺国を表現している。

2年後の1914年6月28日、ボスニア・ヘルツェゴヴィナの州都で、ハプスブルク帝国の帝位継承者フランツ・フェルディナント大公夫妻が暗殺された。この 4 事件は第一次大戦を引き起こしたことで有名であるが、犯人のプリンツィプは英雄として讃えられ、足跡が現場に刻まれたことはほとんど知られていない。プリンツィプは、ハプスブルク帝国からのボスニア・ヘルツェゴヴィナの解放と南スラヴの統一を目指す青年ボスニアに属すボスニア出身のセルビア人である。青年ボスニアにはセルビア人のみならず、ムスリムもクロアチア人も含まれており、この事実は第一次大戦前夜においてなお、民族意識や宗教を超えた共和制に基づく南スラヴの統一を目指す運動が展開されていたことを示している。

第一次大戦が始まると、セルビアは「大セルビア」の実現から、ハプスブルク帝国の解体を前提とする南スラヴの統一へと、姿勢を転換させた。特に15年4月、イタリアが協商側で参戦する見返りとして、多くの南スラヴ人が暮らすダルマティア、イストリア半島、アドリア海島嶼部の領有を約束されると、これが南スラヴ統一を急ぐきっかけとなった。

その結果、第一次大戦終結直後、1918年12月1日、セルビア人・クロアチア人・スロヴェニア人王国(1929年に南スラヴ人の国という意味を持つ「ユーゴスラヴィア」王国と

問 6 下線部⑥の占領と行政権がオーストリアに認められた会議として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ベルリン会議 ② パリ会議
③ ヴェルサイユ会議 ④ ワシントン会議

問 7 下線部⑦の背景として存在する同盟および協約として、適切でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 露仏同盟 ② 独墺伊同盟 ③ 英露協商 ④ 英仏協商

問 8 第一次大戦後に誕生するも、第二次大戦中、枢軸側に占領されて消滅した下線部⑧の後、1946年に建設されたユーゴスラヴィア連邦人民共和国(いわゆる「第2のユーゴ」)には、7つの国境、6つの共和国、5つの民族、4つの言語、3つの宗教、2つの文字、1つの国家が含まれるといわれた。それぞれの内容として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 5つの民族：スロヴェニア人，クロアチア人，セルビア人，アルバニア人，マケドニア人
- ② 4つの言語：スロヴェニア語，クロアチア語，セルビア語，アルバニア語
- ③ 3つの宗教：プロテスタント，正教，イスラーム教
- ④ 2つの文字：ラテン文字，キリル文字

問 9 下線部⑨は 14 世紀以降オスマン帝国の支配を受けるも、20 世紀初頭には独立し第 1 次バルカン戦争を戦った。その下線部⑨が第 2 次バルカン戦争ではすべてのバルカン諸国を敵に回し、ユーゴスラヴィアにも入らなかった経緯として、適切でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 中世以来、バルカン半島における定住が進み、正教を受け入れ、スラヴ系との同化が進んだブルガリア(ブルガール人の国)ではあるが、ブルガール人とはそもそも非スラヴ系(トゥルク系)である。
- ② オスマン帝国支配下のスラヴ系諸民族の反乱を支援するという名目で戦ったロシアが敗北を喫した露土戦争後のサン・ステファノ条約(1878 年)で、オスマン帝国から独立したセルビア、モンテネグロに対して、ロシアの影響を強く受けたブルガリアはオスマン帝国を宗主国とする自治国(マケドニアを含む)となることが決まった。
- ③ ロシアの南下政策を助けることを恐れたイギリスやオーストリアからの干渉を受け、ベルリン会議の結果、マケドニアはオスマン帝国に復帰し、ブルガリアは大きくその領土を削られた。
- ④ マケドニアの支配権は、オスマン帝国の他、ギリシアやセルビアとの問題でもあった。第 1 次・第 2 次バルカン戦争(1912-13 年)の結果、ブルガリアはセルビア、ギリシアから領土分割で譲歩を強いられ、その民族主義的野望は第一次大戦へと持ち越された。

問10 下線部⑩下の「第 2 のユーゴ」における出来事として、適切でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 連合国支配下にあったユーゴスラヴィアでパルチザンを指揮したティトーが、戦後成立した「第 2 のユーゴ」初代首相に選ばれた。
- ② コミンフォルムは 1947 年、スターリンとティトーによって「第 2 のユーゴ」の首都ベオグラードで設立された。
- ③ 「第 2 のユーゴ」がソ連と異なる自立的路線を選択したことで、コミンフォルムから除名された。
- ④ 民族や地域間のバランスを取っていたティトーが 1980 年に死去すると、東欧における民主化への動きやソ連のペレストロイカと呼応し、ユーゴ各地で民族主義の高まりが見られるようになった。

問11 10年以上継続した下線部⑪の経過を示すa～cについて、時系列として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- a ボスニア・ヘルツェゴヴィナがユーゴスラヴィアからの独立を目指す。
- b スロヴェニア、次にクロアチアがユーゴスラヴィアからの独立を目指す。
- c コソヴォのアルバニア系住民がユーゴスラヴィアからの独立を目指す。

- ① $a \rightarrow b \rightarrow c$ ② $b \rightarrow a \rightarrow c$ ③ $c \rightarrow a \rightarrow b$ ④ $b \rightarrow c \rightarrow a$

問12 下線部⑫した後、NATO に加盟したユーゴスラヴィアの後継国として、適切でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① クロアチア ② スロヴェニア
③ モンテネグロ ④ セルビア

次ページ以降にも問題があります。

問題Ⅱ

次の文章を読み、下の問(問 13～24)に答えよ。

中国において、先史時代に多様な文化が存在した。黄河流域では、濠や城壁をめぐらす集落(邑)が誕生し、複数の邑の連合体もつくられるようになった。⁽¹³⁾前 16 世紀ごろに、多くの邑を従えた殷王朝が誕生したが、前 11 世紀ごろに周に滅ぼされた。

周王朝では、周王の一族や功臣などに領地を与えて、世襲の諸侯として治めさせる を行ったが、前 8 世紀に王都を鎬京から洛邑に移したところから王室は衰退し、諸侯は競いあうようになった。この時代の前半を 時代とよび、覇者とよばれる有力諸侯が王室に代わって秩序を維持しようとしていたが、前 5 世紀末以降の戦国時代になると、王室を無視して争うようになり、「戦国七雄」とよばれる 7 つの強国が分立するようになった。

この時代、農業生産力が上昇し、それに伴って商工業も発展したため、取引を円滑にする ⁽¹⁶⁾ が普及した。このような政治・経済・社会の変化は、個人の能力を重んじる風潮をもたらし、諸子百家と呼ばれる多様な思想家や学派が現れた。儒家は家族道徳を重視して、仁徳による統治を主張し、法家は法律による秩序維持を重視する現実主義を取り、道家はあるがままに自然を受け入れることを重視し、⁽¹⁸⁾為政者が社会に影響を与えることに否定的であった。

前 221 年、戦国七雄の一つであった秦は他の 6 国を滅ぼし、統一王朝を打ち立て、その君主は「皇帝」の称号を初めて用いた(始皇帝)。始皇帝は、中央から官僚を派遣して統治させる を導入して中央集権制を築き、文字・度量衡・貨幣を統一し、言論や思想の統制を行った。対外的には、北方では戦国時代以来の長城を修築して、騎馬遊牧民の に対抗し、南方では華南に進出して南海郡などを置いた。

しかし、急激な改革、土木工事の負担、度重なる軍事行動への不満から、始皇帝の死後、全国的に反乱が生じ、秦は滅亡した。その混乱の中で、農民出身の劉邦が名門出身の項羽⁽²¹⁾を倒して皇帝となり、漢王朝を開いた。漢は当初、 に大敗したため対外的には融和策を取り、国内的には と を併用するなど、現実的な政策を採用した。その後、徐々に国力を高め、前 2 世紀後半に即位した武帝は に反撃し、南越や を滅ぼし、また、中央アジアの交通路を抑えるため、タリム盆地を勢力下においた。国内的には、中央集権制を確立して、外征による財政難や社会不安に対応する諸政策を行った。このころに司馬遷が著した「史記」は、以後の歴史書の基本形となった。⁽²³⁾また、 などの意見により、儒学は官学となり、以後の歴代王朝を支える政治思想となった。

問13 下線部(13)について最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 三星堆文化では、竜形玉器がつくられた。
- ② 紅山文化では、黒陶がつくられた。
- ③ 仰韶文化では、彩陶がつくられた。
- ④ 竜山文化では、青銅仮面がつくられた。

問14 空欄 14 として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 郡県制 ② 里甲制 ③ 封建制 ④ 均田制

問15 空欄 15 として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 春 秋 ② 南北朝 ③ 五代十国 ④ 五胡十六国

問16 下線部(16)の理由として、適切でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 鉄製農具の使用が広まった。
- ② 牛に犁を引かせる耕作技術が開発された。
- ③ 森林伐採が効率化し、耕地開拓が進んだ。
- ④ 貿易の結果、新しい肥料が導入された。

問17 空欄 17 として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 貝 貨 ② 青銅貨幣 ③ 金 貨 ④ 交 鈔

問18 下線部(18)の人物として、適切でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 李 斯 ② 韓 非 ③ 蘇 秦 ④ 商 鞅

問19 空欄 19 として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 郡県制 ② 里甲制 ③ 封建制 ④ 均田制

問20 空欄 20 として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 突 厥 ② 匈 奴 ③ 鮮 卑 ④ 柔 然

問21 下線部(21)のはじまりとなった反乱として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 黄巾の乱 ② 安史の乱
- ③ 呉楚七国の乱 ④ 陳勝・呉広の乱

問22 空欄 22 として最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 檀君朝鮮 ② 箕子朝鮮 ③ 李氏朝鮮 ④ 衛氏朝鮮

問23 下線部(23)として，適切でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 塩・鉄・酒の専売にすることで，財源を確保した。
② 大運河を建設することで，物流を活性化した。
③ 各地の産物を他の地方に輸送することで，物価を均一にした。
④ 貯蔵した産物を売り買いすることで，物価を安定化した。

問24 空欄 24 として最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 董仲舒 ② 班 固 ③ 孟 子 ④ 王 莽

次ページ以降にも問題があります。

問題Ⅲ

次の文章を読み、下の問(問 25～35)に答えよ。

17 世紀、ヨーロッパの気候は寒冷化した。これは農業生産に深刻な打撃を与え、感染症も流行した。また、アメリカにおける銀の生産の低下もあって、16 世紀において成長していたヨーロッパの経済活動は低迷した。この経済危機は社会不安と政治不安をもたらしたが、イギリスは立憲王政の確立、フランスは絶対王政の追求という対照的な対応をすることになる。

イギリスでは、1603 年にエリザベス 1 世が没すると、スコットランド王であるジェームズ 1 世がイングランド王として迎えられた。ジェームズ 1 世と次のチャールズ 1 世は議회를軽視し、専制的な統治を行った。これに反発した議会は 1628 年にチャールズ 1 世に対し、議会の同意のない課税をしないことや国民を不当に逮捕しないことなどを要求した。しかし、王は議회를解散してしまう。

1640 年、チャールズ 1 世は、前年にスコットランドでおきた反乱の戦費調達のため、議会を開催する。しかし、議会は課税に反対し、国王の権力を制限する決議をしたので、王党派と議会派の対立が深まり、1642 年には内戦に陥った。

この内戦において、議会派は を指導者として王党派に勝利し、1649 年に国王を処刑して共和政を開始した。 はアイルランドを征服し、1651 年に航海法を定めた。この法律の目的は、 の中継貿易の妨害であったため、3 次にわたる同国との戦争のきっかけとなった。また、国内の安定をはかるため、護国卿として、軍事独裁体制を強めた。しかし、彼の死後、その統治体制に国民の不満が高まっていたため、王党派によって、フランスに亡命していた先王の子であるチャールズ 2 世が王として迎えられた。

チャールズ 2 世と次のジェームズ 2 世も再び専制的な統治を行い、議会と対立する。議会の主勢力は協力して、王の娘婿であるオラニエ公ウィレムを招くと、ジェームズ 2 世は国民からの支持を失い、フランスに亡命した。ウィレムとその妻メアリは夫婦でイギリス国王に即位した。夫妻は、議会在立法や財政などにおいて国王の権力に優越するという要求を受け入れ、これは として制定された。以降、イギリスでは立憲王政が確立することとなる。

フランスでは、16 世紀の後半、カルヴァン派の とカトリック教徒の対立が深刻になり、内乱に発展した。この内乱には、スペインやイギリスなどの国外からの影響も加わり、カトリック教徒の指導者や国王アンリ 3 世が暗殺されるなど、フランス国内は混迷をきわめることとなる。

アンリ 4 世は自らがカトリックに改宗し、フランス国王に即位した。彼は、1598 年に を発し、カトリックの優位としつつも、 の信仰の自由と市民権を認

アンリ 4 世は内乱により荒廃したフランスを再建するため、中央集権化をはかり、財政改革、農業保護などを行った。次のルイ 13 世は、宰相に 34 a を登用し、王権の強化をはかった。1643 年に、その子のルイ 14 世が幼少で即位した。宰相となった 34 b は貴族や高等法院などによる反乱を鎮圧した。これにより、フランスの貴族は有名無実化することとなる。

その後、ルイ 14 世は自ら治世を行うようになり、彼が発したとされる「朕は国家なり」という言葉に表されるように、その権勢は絶頂を迎える。ルイ 14 世は財政基盤の確立のため、商工業の育成をはかった。財務長官に 34 c を登用し、王立マニファクチュアの設立など重商主義政策を推し進めている。ルイ 14 世は軍制改革も行い、国外での覇権を求めて積極的に周辺諸国に侵攻した。⁽³⁵⁾

問25 下線部(25)を示す用語として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- 問26 空欄

26

 に当てはまる人物として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- 問27 下線部(27)を示す政変として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- 問28** 下線部(28)に関する説明として、適切でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- (2—3 世界史)

問29 空欄 29 に当てはまる国として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ポルトガル ② スペイン ③ オランダ ④ デンマーク

問30 下線部(30)を示す政変として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ピューリタン革命 ② 産業革命
③ 文化大革命 ④ 名誉革命

問31 空欄 31 に当てはまる用語として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 権利請願 ② 独立宣言 ③ 権利章典 ④ 人権宣言

問32 空欄 32 に当てはまる用語として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ユンケル ② ユグノー ③ ゴイセン ④ ユンカー

問33 空欄 33 に当てはまる用語として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 奴隷解放宣言 ② ナントの王令
③ マグナ・カルタ ④ 宗教協約(コンコルダート)

問34 空欄 34 a , 34 b , 34 c に当てはまる組み合わせとして、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | | | |
|---|-------------|-------------|--------------|
| ① | a リシュリユー | b マザラン | c コルベール |
| ② | a カブラル | b マゼラン | c コロンブス |
| ③ | a ニュートン | b ライプニッツ | c デカルト |
| ④ | a ロック | b ルソー | c モンテスキュー |

問35 下線部(35)に関する記述として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① スペインの無敵艦隊を破り、海外進出の足掛かりとした。
② オスマン帝国の海軍をレパント沖の海戦で破り、威信を高めた。
③ オーストリアと同盟し、七年戦争においてプロイセンと戦った。
④ スペイン継承戦争において、イギリス、オランダ、オーストリアなどと戦った。